

|       |                     |
|-------|---------------------|
| 実験名   | 自己運動認知実験            |
| 主任研究者 | 高田一真                |
| 実験者   | 高田一真                |
| 実験装置  | ディスプレイ、キーボード、コントローラ |

参加者の皆様へ

この研究に参加していただき、ありがとうございます。始める前に、実験の手順について理解していただくことが重要です。以下の内容をよくお読みください

## 1. 研究の目標

この研究の目標は、運動を通じた自己認知とその自信を調査することです。行動バイアスを避けるため、実験前に具体的な研究課題と仮説を説明することができません。実験が完了した後に説明します。

## 2. 指示と手順

あなたは、ディスプレイ上に提示されるドットを操作する実験に参加します。ディスプレイに表示されたドットは、コントローラを介して動きます。あなたの手で動かしたコントローラの動きが、ディスプレイ上のドットに反映されます。ディスプレイ上に表示された二つのドット（四角形と丸）を 5 秒間動かして、自分の手の動き（コントローラの動き）と最も似ているものを探索していただきます。5 秒間は自由な動きをしていただいて構いませんが、コントローラの稼働範囲外に無理に力を入れないように指示されます。5 秒間の操作後、二つのドットは動きが止まります。その後、自分の動きと一致していると感じたドットをキーボードで選択していただきます。この実験課題を複数回、能動的な動きと受動的に動かされる場合で取り組んでいただきます。より詳細な実験の手順や流れについては、**被験者用説明書**にてご確認ください。実験では、各実験ブロック間で最大 10 分間の休憩を挟みます。自己運動認知実験中、手元が見えないように、首元から机にかけて布で覆います。本実験で使用される機器の詳細も、**被験者用説明書**にてご確認ください。

実験には、休憩、自己運動の実験試行、実験後のアンケートが含まれます。アンケートでは、あなたが実験中に感じたことや、どうやって自分の動きと一致するドットを探索・識別したかなどについて記入していただきます。このアンケートは、全ての実験試行が終了した後に実施されます。

ご回答頂きました内容はすべて匿名化され、データ分析のためにのみ使用されます。実験を開始すると、より詳細な指示が別の説明書で示され、実験に慣れるための練習試行が行われます。

## 3. 必要な時間

実験にはおおよそ 90 分かかります。謝礼としては 2000 円分のアマゾンギフトカードをお渡しします。何らかの理由で実験が完了できなかった場合は、参加度に応じて謝礼をお渡しします。

#### 4. リスクと利益

本実験で使用される機材は、一般的に参加者へ生じうるリスクはありません。ただし、コントローラーが参加者の腕を動かす場合において、予期しないエラーによってコントローラーが意図しない動きをする可能性が限りなく低いですが、存在します。コントローラーの電圧とモーターの温度は常にモニタリングされており、コントローラーに影響が出るとプログラムが判断した場合、その場でコントローラーは停止します。また、もし参加者が受動運動中（コントローラーが参加者の手を動かしている際）に危険を感じた場合、もしくは実験者が危険と判断した場合においては、実験者が緊急停止ボタンを押すことで即座にコントローラーは停止します。この緊急停止ボタンはモーターの電源と直結しており、押されることで電源の供給が止まり、コントローラーの動きも停止します。

その他に、長時間同じ姿勢で座っていることや、腕を動かすことによる身体的疲労を起こす可能性があります。身体的疲労のリスクは、実験前と実験後のストレッチ、また実験中の休憩によって最小化されます。万が一、実験装置に対して突発的な反応が出た場合は、実験を中止します。

#### 5. その他の説明

必要に応じて以下の連絡先までお問い合わせください。

この研究に関する詳細情報をご希望の場合: 高田一真 k.takada@oist.jp

実験の日程調整やオプトアウト(参加辞退)をご希望される場合: モリシー多恵 tae.morrissey@oist.jp

研究に関して懸念点がある場合: 研究責任者トム・フロース tom.froese@oist.jp